

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 15日

事業所名 放課後等デイサービスセンターこころね

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ワンフロアだがパーテーションや家具、畳等で境界を作り活動を分けている。	利用される方の特性に合わせて、都度環境づくりを行う。
	2	職員の配置数は適切である	○		安全を第一に活動内容に合わせて職員・支援者を増員している。	活動に合わせ法令で定められている支援者以上の配置を行って事故防止に努めていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			手すり等はないが、手すりが必要な利用者様には付き添い支援を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		チーム支援を心掛けたチーム全体でPDCAを意識して取り組んでいる。	利用が不定期な学生のアルバイトさんに対して情報共有が抜けていた事が有ったので共有ノートを作成して対策を立てている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		信頼関係を築き、忌憚ない意見を頂けるように努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しております。	https://www.kokorone0701.com/
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		都度テーマを決めて研修を行っている。	虐待防止、個人情報保護等、内部・外部の研修を年間計画に盛り込んでいる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングを含め、定期的に面談を実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		オリジナルのアセスメントシートを用いて実施している。	アセスメントシートで見えない部分は個別にヒヤリングし必要に応じてアセスメントシートにプラスしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用者様の特性や心理状態をそれぞれの支援者が持ちよりチームで支援内容を決めている。	支援の振り返りを支援者間で共有して、次のプログラムを練りなおす様にしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容の振り返りを行い固定化しないように努めている。	常に「やってみたい！」を育む支援を目指し「やってみたい」を支援するように支援者全員に共通認識するようにしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		四季、季節を感じたり学齢期に必要な経験等が出来る様にサービス提供している。	今後も常日頃から利用者様の「やってみたい」を傾聴し、保護者様からの要望も汲み入れ長期休暇時、放課後時に振り分け企画していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		特性や好みを把握し学年別等多種集団活動が出来る様に支援している。	常に「やってみたい！」を育む支援を目指し、「やってみたら面白かった！」となるような集団活動、個別活動を利用者様に提供する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開始前に役割分担など打ち合わせし支援している。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気付いた事は振り返りやミーティングで議題として挙げ共有している。	ミーティングでの決定事項等がアルバイト支援者に伝わってなかったので議事録の回覧を実施していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を残し、情報の共有や振り返りに活用している。	記録を振り返り、モニタリング等にも活用し、よりよい支援計画となるように記録する事は大切な支援の一つと捉えている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングの結果を踏まえて、個別支援計画を立案している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		基本活動を意識して支援を組み立てている。	地域交流の機会の提供は今年度はコロナ感染対策上難しかったが、ミュージック・ケアや畑活動・清掃・買い物等日常生活に重点を置き多方面から支援を組み立てようと考えている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者のほかに必要に応じて児童指導員も参画している。	今後も必要に応じて児童発達管理責任者の他にも適任者にも参画してもらう。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		引継ぎ時に情報を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医師・看護師が不在の為、医療的ケアが必要な利用者の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		出来る範囲で就学前の施設の計画書等を共有させてもらっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		求めに応じて計画相談事業所に様子を情報共有している。	今後も継続して情報共有していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて研修に参加したり助言を求めている。	今後も研修などは積極的に参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	今年こそはと地域の高校生を主体としたお菓子作りを計画したが、コロナ感染対策上、数回延期の上中止となった。	次年度も企画計画を行い機会の提供をしたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		協議会にて情報の共有を行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳を用いて情報の共有を行っている。	共有した情報はモニタリングに活かし個別支援計画にも活かしていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		継続して支援者一人一人の技量を高め、ペアレント・トレーニング支援が出来る様に検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明している。変更時も書類・訪問して説明を行っている。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて助言し、個別支援計画に盛り込む場合もある。	きめ細やかに保護者様と連携を図り支援を重ねていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		希望される保護者様もおられるので、コロナ禍の中、どのような形態が良いか検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応の体制を機動させ、迅速かつ適切に事実を把握し正しく対応すべく心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		季節ごとに年4回会報誌を発行・配布している。	分かりやすい会報を発信してゆきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の大切さを支援者全員に伝え説明している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて別途時間を設けたり場所を移して配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事では無いが、地域の方に畑をお借りし、ボランティアとしてアドバイス等を頂いている。	コロナ禍の中、地域住民を招待出来る活動とは何かを検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルの策定は有るが、保護者様への周知が不十分と保護者様アンケートで結果が出たので保護者様への周知を実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		消防車を招き避難訓練したり、法令に基づき訓練を行っている。	河川の氾濫、洪水災害の避難訓練も加えて実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部講師を招き虐待防止等の研修会を開催している。又毎月のミーティングの中で虐待防止についても触れている。	今後も継続して虐待防止のアンケートを定期的実施して自身を振り返る機会を確保していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現状、身体拘束が必要なケースは無いが保護者様には契約時や面談時に説明を行っている。	必要時に向けて書類の作成を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	医師の指示書を必要とする利用者がいない。	アレルギーのある利用者様に関しては保護者様から細かく指示を受け摂取時間をずらしたり食事場所の清掃消毒を徹底している。今後も継続する。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		虐待防止の意味をも兼ねてヒヤリハットの事例共有をしている。	今後も支援の振り返りを行い情報共有し、事故やヒヤリハットの再発防止に努めたい。	